**レファレンスだより**2024年12月号　No.264

**福岡市総合図書館　図書サービス課　図書資料係　☎092-852-0632**

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

**■レファレンス受付件数（2024年9月分）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 参考 | 人文 | 社会 | 自然 | 郷土・文書 |
| 67 | 611 | 162 | 125 | 97 |
| 国際 | 国連 | こども | ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰ | 合計 |
| 178 | 15 | 565 | 616 | 2,436 |

（開館日　13日　一日平均　187件）



今年も一年を走り抜けて師走にたどり着きましたね！月日を振り返る間もないほど慌ただしく、さらに年末に向けて焦る気持ちをお持ちの方も少なくないと思います。日本人が古くから同じようにこなしてきたであろう師走の行事に思いを馳せれば、慌ただしい中にもどこか味わい深く感じることができるかもしれません。そんな思いで、12月の行事をご紹介します！

　　今月の特集！

**１２月の行事**

　12月のこの時期をさまざまな表現で語られるところを耳にします。それぞれ少しずつその言葉の使い方や使う方の感覚が違っていて、言葉の味わい深さを改めて感じさせられます。

**「師走」**…１２月の異名。

**「臘月（ろうげつ）」**…１２月の異名。

**「年の暮」…**年の終わり。12月になってからをいうが、さらに年末が押し迫ってからもいう。“暮れる”とは時が果てること。

**「行く年」**…暮れてゆく年。過ぎ去ってゆく年。どこか時が流れゆくことを惜しむ気持ちが感じられます。昔は、年の終わりは、冬の終わりをも意味していました。

**・正月事始め**

正月の準備に取りかかる日のこと。すす払いなど正月を迎える用意をする。１２月１３日に始めるが、門松を山から持ってくる松迎えもする。

**・冬至**

冬至には、冬至粥と言って赤豆粥を作って厄鬼を払ったり、南瓜（カボチャ）を食べたり、柚子を浮かべた湯に入り万病を防ぎ禊（みそぎ）の意味での習慣がある。

**成道会**

　釈尊が悟りをひらいたとされる記念日の法要。



**・クリスマス**

キリストの降誕の日とされる。ヨーロッパで夏至を祝う風習と結びついてクリスマスとなったと言われる。古くは長崎の出島でオランダ冬至と呼ばれていた。



**・大**

十二月の末日でおおつごもりともいう。元旦を明日にひかえた一年の終わりの日。

**・針供養**

針を休め、裁縫などに使って折れた針を豆腐やこんにゃくなどやわらかいものに刺して供養する行事。12月８日に行われる。

**〈参考文献〉**

『**カラー図説 日本大歳時記**』　**講談社**　1983年

『**図説俳句大歳時記　冬**』

**角川書店／編　角川書店**　1973年

『**季節のことば辞典　四季別・50音順**』　**復本 一郎／監修　柏書房**　2004年

**『歳時記語源辞典』**橋本 文三郎／著　文芸社　2003年

**『モノの数え方えほん』**町田 健／監修　ふわ こういちろう／イラスト

日本図書センター　2015

**・**

臘八は、12月8日の意。この日に寺院で修せられる法会で、釈迦が悟りを開いた日で、成道会とも言われる。

今月のレファレンス事例

質問：仮名手本忠臣蔵の定九郎で有名になった初代中村仲蔵について、

生い立ちなどが分かる本はないか。（人文科学）



回答：①によると初代仲蔵には随筆や自伝があり、当館所蔵資料では④⑤。

②を口語訳した③の訳者によると、②の初代の伝記部分の史実性は疑わしい、と解説にあります。一方で、②は多くの落語や文学で参考にされています。

**①『歌舞伎人名事典』**

**（野島 寿三郎／編　日外アソシエーツ　2002年）　2階C13　R774.03/ﾉ　禁帯出**

ｐ.479-480　中村　仲蔵（初代）　なかむら・なかぞう

生まれた場所、名前（幼名、屋号、俳名（＝秀鶴）など）、忠臣蔵の定九郎で有名になった件他、経歴などがまとめられている。本人の著書に随筆『秀鶴日記』　『秀鶴随筆』、自伝『月雪花寢物語』がある、と記述あり。

典拠資料も示されている（9件）。

**②『手前味噌 (青蛙選書)』国立国会デジタルコレクション（info:ndljp/pid/12436061）**

**（三代目中村仲蔵/著　郡司正勝/校註　青蛙房　1969年）**

三代目の自伝であるが、初代や二代目についても記述あり。

**③『手前味噌　三代目仲蔵自伝　角川選書』**

**（中村 仲蔵／著　小池 章太郎／訳　角川書店　1972年）　閉架書庫　774/ﾅ**

初代や二代目の伝記部分については割愛されている。割愛の理由については巻末の解説を参照（ｐ.249）。

**④『新燕石十種　第8巻』（国書刊行会／編　中央公論社　1982年）　2階B5　 081.5/ｲ**

ｐ.17-53　秀鶴随筆、　ｐ.340-　秀鶴随筆についての後記。経歴などの記載有。

**⑤『日本庶民生活史料集成　第15巻　都市風俗』**

**（谷川 健一／編集委員代表　三一書房　1971年）　2階D18　382.1/ﾆ　禁帯出**

ｐ.833-873　月雪花寢物語









質問：賃貸住宅を退去するときの原状回復についてのガイドラインが国土交通省から出ていると聞いたが見たい。（社会科学）



　回答： 国土交通省のホームページで該当のガイドラインを確認したところ、再改定版ガイドライン全173ページが、PDFでダウンロード出来るようになっていました。以下のURLをご覧ください。インターネットで見ることができます。また、本では当館所蔵の資料①に掲載がありましたので紹介します。

**●国土交通省ホームページ「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」について**

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku\_house\_tk3\_000020.html

再改定版ガイドライン全173ページが、PDFで掲載されています。

上記、ホームページ内「ガイドラインの位置付け」より引用

「退去時における原状回復をめぐるトラブルの未然防止のため、賃貸住宅標準契約書の考え方、裁判例及び取引の実務等を考慮のうえ、原状回復の費用負担のあり方について、妥当と考えられる一般的な基準をガイドラインとして平成１０年３月に取りまとめたものであり、平成１６年２月及び平成２３年８月には、裁判事例及びＱ＆Ａの追加などの改訂を行っています。」

**①『賃貸住宅の原状回復をめぐるトラブル事例とガイドライン　再改訂版』**

**（不動産適正取引推進機構／編著　大成出版社　2011年）　２階Ｄ１０　324.81/ﾁ**

平成２３年（2011年）８月に再改訂された「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」の内容が網羅されています。



今月のレファレンス事例



質問：アーチ橋構造の形（曲線）は円弧か？懸垂線か？他にどんな形状があるか

知りたい。特に山口県にある錦帯橋について知りたい。（自然科学）



回答：以下のような資料があります。

**①『橋のはなし　1』（吉田 巌／編　技報堂出版　1985年）閉架書庫　515/ﾊ**

Ｐ13～14　「アーチの曲線としては、一般的に円、多心円、放物線、楕円などが用いられています。」と記載あり。

**②『最新橋構造　第2版』**

**（倉西 茂／共著　中村 俊一／共著　森北出版　2004年）閉架書庫　515.1/ｸ**

Ｐ113～119　アーチの形状や名称、アーチの構造形式について図あり。

Ｐ127　錦帯橋のアーチの構造について記載あり。

**③『橋の造形（建築巡礼）30』（伊藤 学／文・写真　丸善　1995年）閉架書庫　515.04/ｲ**

Ｐ75～79「木造アーチ」の項目に錦帯橋のアーチの形状について詳細あり。

「錦帯橋のアーチはライズ・スパン比が約七・五分の一でかなり扁平である。アーチ下縁は円弧であるが軸線は放物線に近いという。」

**④『木による空間構造へのアプローチ』**

**（今川 憲英／著　岡田 章／著　建築技術　1997年）閉架書庫　524.5/ｲ**

Ｐ84　錦帯橋のアーチ構造の図解あり。

**⑤『橋（つくりながら学ぶやさしい工学）2』**

**（アン・マグレガー／作　スコット・マグレガー／作　草思社　1981年）閉架書庫　Y515/ﾏ**

Ｐ14～15　アーチ橋の構造について図解あり。

**⑥『橋のなんでも小事典』（土木学会関西支部／編　講談社　1991年）閉架書庫　515.04/ﾊ**

Ｐ19～24　錦帯橋の木組みの図や写真あり、錦帯橋が架け替えられてきた歴史についても記載あり。

**②『最新橋構造　第2版』**

**（倉西 茂／共著　中村 俊一／共著　森北出版　2004年）閉架書庫　515.1/ｸ**

③**『橋の造形（建築巡礼）30』（伊藤 学／文・写真　丸善　1995年）閉架書庫　515.04/ｲ**

Ｐ13～14　「アーチの曲線としては、一般的に円、多心円、放物線、楕円などが用いられています。」と記載あり

Ｐ113～119　アーチの形状や名称、アーチの構造形式について図あり

Ｐ127　錦帯橋のアーチの構造について記載あり

Ｐ75～79「木造アーチ」の項目に錦帯橋のアーチの形状について詳細あり

「錦帯橋のアーチはライズ・スパン比が約七・五分の一でかなり扁平である。アーチ下縁は円弧であるが軸線は放物線に近いという。」

Ｐ84　錦帯橋のアーチ構造の図解あり

**架**

Ｐ14～15　アーチ橋の構造について図解あり

Ｐ19～24　錦帯橋の木組みの図や写真あり、錦帯橋が架け替えられてきた歴史についても記載あり

④**『木による空間構造へのアプローチ』**

**（今川 憲英／著　岡田 章／著　建築技術　1997年）閉架書庫　524.5/ｲ**

⑤**『橋（つくりながら学ぶやさしい工学）2』**

**（アン・マグレガー／作　スコット・マグレガー／作　草思社　1981年）閉書庫　Y515/ﾏ**

⑥**『橋のなんでも小事典』（土木学会関西支部／編　講談社　1991年）閉架書庫　515.04/ﾊ**





質問：中国の古い瓦当に書かれた文字を解説する資料がみたい（国際）



回答：以下のような資料があります。

「瓦当（がとう）」を調べる

**①『講談社カラー版日本語大辞典第2版』（講談社　1995年）２階Ｂ１　R813.1/ﾆ**

「瓦当は屋根瓦の軒先の小口をふさぐ部分。狭義には軒丸瓦の先端部。広義には軒平瓦の先端部も

さす。多く、文様が書いてある。」

中国語資料

**②『文物收藏图解辞典』**

**（李 缙云，于 炳文／主編　浙江人民出版社　2002年）２階Ａ６　102RCHI/709.22/LI**

瓦に書かれている文字は吉祥語とある。日本語資料

**③『中国古代瓦の美　文字・画像・紋様の面白さ』（伊藤 滋／編著　郵研社　2013年）**

**２階Ｂ１７　728.22/ｲ**

**④『秦漢瓦当文』（伊藤 滋／編著　日本習字普及協会　1995年）　　２階Ｂ１７　728.4/ｲ**

**⑤『書学大系　碑法帖篇[1]第6巻　瓦当』（同朋舎出版　1989年）　２階Ｂ１７　728.22/ｼ**

漢字の意味を調べたい場合に利用する資料として

**⑥『中日辞典』　　２階Ｂ２　823/**に多数

**⑦『大漢和辞典（全12巻）』（諸橋 轍次／著　大修館書店　2000年）２階Ｃ１　R813.2/ﾓ**

　　　今月の一冊！

**『豆類の百科事典』**

**（国分 牧衛／編　　朝倉書店　　2024年）　２階E4　R616.7/ﾏ**

**豆類について、その生産技術、食材としての加工利用技術、そして歴史や食文化に至るまでを網羅した事典です。私たちの食事になくてはならない豆腐、納豆、味噌、醤油の原料であるダイズについても、その品種や栽培方法、栄養、加工食品についてなどさまざまな記述があります。アズキ、ラッカセイ、インゲンなど国内・海外の様々な豆類について190名の専門家が237項目について解説しています。各項目が見開き2ページに収められているので、短時間で内容を把握しやすいですね。**

使ってみました⇒**納豆の原料・品種は？**⇒ｐ72-73参照

納豆は大豆を利用した他の加工食品と異なり、原料となる大豆の外観品質ができ上った製品の品質に直接の影響を及ぼします。納豆には主に小粒大豆が使われており、百粒重が10ｇ前後で、粒の揃いがよく、裂皮が少なく、加工した際に色が明るく軟らかくなる原料が好まれる傾向があります。代表的な小粒品種である「納豆小粒」の産地は茨城県や栃木県。西日本・九州では暖地向けの品種「すずおとめ」「すずかれん」が育成されています。「すずおとめ」は西日本の主力品種「フクユタカ」より早生で、「すずかれん」の成熟期は「すずおとめ」より遅いとのこと。ｐ72の表「小粒大豆の農産物検査数量（2020）」を見ると国内の産地や品種がわかります。

総合図書館　専門図書の案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 書名 | 著者名 | 出版者 | 請求記号 |
| 人　文 | 安部公房　消しゴムで書く | 鳥羽 耕史／著 | ミネルヴァ書房 | 910.26/ﾄ |
| 地図が語るアメリカ合衆国の歴史 | ローリック・エヌトン／著、ピエール・ゲ／地図製作、蔵持 不三也／訳　 | 柊風舎 | 253.01/ｴ |
| 社　会 | ヴィクトリア朝英国の鉄道旅行史 | スーザン・メジャー／著、白須 清美／訳 | 原書房 | 686.23/ﾒ |
| Q&A外国人・留学生支援「よろず相談」ハンドブック | 永井 弘行／著 | セルバ出版 | 329.9/ﾅ |
| 自　然 | 和紙を科学する | 大川 昭典／著 | 勉誠社 | 585.6/ｵ |
| 日本の気象観測と予測技術史　 | 古川 武彦／著 | 丸善出版 | 451.2/ﾌ |

今月の展示　～総合図書館２階　　主題別（専門書）・国際・国連　展示のご案内～

毎月5つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、ぜひご覧ください。

≪人文科学≫　　　映画

≪社会科学≫　　　人権

　　　 世界の祝祭

～年末年始などを中心に～

≪自然科学≫　　　温泉

≪国　際≫

≪１Ｆ　ＲＣ１≫　研究成果の紹介

≪国　連≫　　国連×人権